

e-ビーフNEWS 北の牧場から

June 2024

十勝はみどり

朝陽が昇るのが早い。3時過ぎには明るくなる。日が落ちるのは遅く、7時過ぎまで明るい。寒暖差が大きく、特に朝方は一けた。昨日は4℃まで下がり、根室厚床ではマイナス3℃。ここまできると播種したデントコーンが、芽が出てきたところで、霜害が心配。日中は20℃超えもあり、半袖作業。着替えて忙しい。牧草の伸びが早い。来週から一番刈が始まるところも出てきそうな勢い。併せて雑草が大きく成長。ギシギシが大きく葉を広げてきた。アルバイトさん入れ抜き取り作業が始まった。昨年抜き取りした畑はきれいになっており、アナログだけどこれが、一番効果があるようだ。先月、町営牧野に放した日本短角や黒毛の若武者は、広々した草地を、元気に飛び回っている。酪農家からの入牧が遅れ、彼ら7頭だけの天下だ。でもスプリングフラッシュで草の勢いに負けている。秋までにどこまで育つか楽しみだ。



活動のお知らせ

6月15日(土)
13:00~16:30

環境リサイクル肉牛協議会 第25回定期総会および肉牛飼養技術研修会

新得町 北海道立総合研究機構 畜産試験場 1階 講堂 (なお、Zoomミーティング参加も可能です)

1.第25回定期総会(13:00~14:00)

- 2023年度事業報告・決算報告
- 2024年度事業計画(案)・予算(案)
- その他

2.肉牛飼養技術研修会(14:00~16:30ごろ)

e-びーふ牧場(北の牧場舎)の飼養・肉質分析Ⅲ 日本獣医生命科学大 動物栄養学教室 柴田昌宏教授

NEWSばか読み

- 23年産コメ 高温耐性稲14%増18万t 新品種作付け増4/30: 着々と温暖化準備
- 3月生乳受託戸数 昨対5%減 過去10年で最小5/1:生産者の減大きく
- 総務省 空き家最多の900万戸 6県では5戸に1戸5/1:過疎化深化
- G7環境相会議 35年までに火力発電廃止
5/2:日本は準備できているかな
- 農薬飛散トラブル 各地で問題に 賠償リスクも
5/4:課題点がクローズアップ
- 徳島県佐那河内村 定年帰農向けに給付金制度創設 定年延長で減に対応5/6:楽しいよ
- 内閣府 4月消費者動向調査 7か月ぶりに悪化 値上げ相次ぐ
5/6:末端心理弱し
- 東京商工リサーチ 24年度倒産件数1万件超え予想 原料高人手不足
5/7:転嫁できない
- コロナ5類移行1年 人流活発化・円安でインバウンド商機 和牛・抹茶・果実など5/8:乗れるか
- 24年度加工原乳補給金で指定団体減、指定外が14%伸び
5/8:乳の流通に変化の兆し
- 全国の大学に食・農・環境学部が新設相次ぐ5/9:成長分野?
- 厚労省 高齢者認知症推計値60年に645万人 6人に一人
5/9:やばい
- 厚労省 実質賃金減24ヶ月連続減 過去最高に
5/10:心理的に消費減に
- 気象庁 9月までにラニーニャ現象 酷暑リスク高まる
5/11:異常がどこまで
- 主要野菜相場高騰 端境期と天候不順5/15:
- 訪日観光客 4月300万人超え 過去最多 円安で5/16:いらっしゃい
- 沖縄離島で和牛生牛相場が2割下がる暴落5/16:離島政策に影響
- 家庭向け米飯需要が拡大 節約志向で5/17:心理的消費の変化
- 徳島県那賀町 荒廃民有林の買取推進 水源地維持5/17:環境保全
- 十勝港-京浜港(横浜)の定期航路就航 18年ぶり5/17:新たな流れ
- 冷凍餃子が5年で1.4倍に 国産野菜に引き合い5/18:需要先に変化
- 新幹線輸送事業開始 生鮮食品の当日販売可能に
5/18:輸送方法の多様化
- 農水予算がピークの6割 補正で修復 5/20:政策欠如
- 太陽フレア トラクターの自動操舵に影響5/21:検証
- 地方の種苗業者が減少 在来種継承に危機5/22:多様性に警笛
- 牛マルキン ほとんどの地域で発動 牛肉販売不振5/28:生産者深刻
- 農業基本法改正案が国会成立 食糧安保基本理念5/29:課題山積

東京直近NEWS(5/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は停滞しているが、産地相対価格は@1000台維持との情報。販売状況GW明け一段と低調も、輸入ビーフ高騰から問合せ増加。切落し材中心の問合せほか、バラ系の引合い強い。逆にロイン高級部位が弱く、カタロースは低迷している。集荷状況も出回り頭数減少傾向から産地からは穴埋め的にコスト安の未経産牛出荷可能連絡増。輸入物不足から、代替需要で引合は一定維持も単価は安価要求強い。

経産牛

経産牛出回り頭数一段減、価格は一段上げの状況。道内生体市場には道外買参人も参加増でコスト上げの要因。輸入アイテムの高騰影響から、バラ系や赤身パーツの引合い増加。プリスケヤトモバラは余剰無し。挽材も徐々に値上げと数量維持が困難になってきており状況変化。この先も出回り頭数に不安感強く、更なるコスト上昇可能性大。

畜産学研究ニュース

肉用牛研究会報116号(2024.1)一般発表より補足

(1)10.黒毛和種去勢肥育牛の26ヵ月齢出荷の試み(阿部剛他、家改セ)

黒毛和種肥育牛の29ヶ月齢の慣行出荷から26ヶ月齢760kg短期出荷が枝肉成績に及ぼす影響を検討しました。肥育中の配合飼料12kgの高TDN給与でも初期の粗飼料多給で格付け成績に影響なく、和牛の風味を損なわずに牛肉生産が可能と思われました。

(2)14.海外産Wagyu肉と黒毛和種牛肉の理化学的特性と官能特性の比較(尾花尚明、他、家改セ)

肉質等級4以上の和牛肉と豪州産Wagyuで黒毛和種血液公表値87.5%の肉の理化学的特性と官能特性を比較しました。国産和牛肉は粗脂肪含量と各脂肪酸指数が高く、やわらかさ、多汁性、甘い香り、風味の強さなどが高いことに特徴があるようです。

2.畜産技術827号(2024.4)

(1)技術情報:食肉を食べる時に感じる「複雑さ」の数値化方法(渡邊源哉,農食産技総研食肉品質G)

食肉のおいしさには味や匂い、食感などの複雑さがあります。これは食感の経時変化によるもので、数値化するのに Temporal Dominance Sensationという手法で、最初に最も注意を惹いた感覚を一つだけ、うま味や匂いなどの評価項

目を組み込んだパソコン画面から選び、その後感覚変化のつど順次選択します。こうして食肉の持つ感覚を数値化して、複雑な味わいの要因である「こく」についても客観的な品質表示が可能になると思われました。

(2)文献情報2:ホームページ「牛のメタン」基礎から研究まで(野中最子、農研機構畜産研究部門)

牛の第一胃内微生物が飼料摂取で発酵するとメタンが産生され、あい気(げっぷ)とともに排出されます。牛の鼻先でのガス分析では1~2分間隔でメタンのピークが現われ、反芻間隔も1~2分なので混同されますがホームページの映像ではげっぷと反芻は異なることが判ります。牛にげっぷを我慢させるよりげっぷ中のメタンを減らす技術が重要です。

3.畜産技術828号(2024.5)

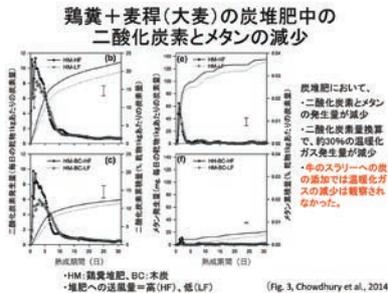
(1)国内情報:牛肉の輸出拡大の現状と課題(藤谷洋平、農水省畜産局食肉鶏卵課)

2023年の牛肉輸出額は578億円(正肉とくず肉、加工品計8,800t)で過去最高でしたが政府は農林水産物・食品の輸出目標を5兆円とする実行戦略を立てました。主な輸出先は香港、台湾、カンボジア、米国、EU等です。さらなる輸出拡大にはハラール認証の促進や既に認知度の高い和牛の事例に倣ったオールジャパンを意識した産地の畜産物輸出コンソーシアム形成が推進される必要があるようです。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2023

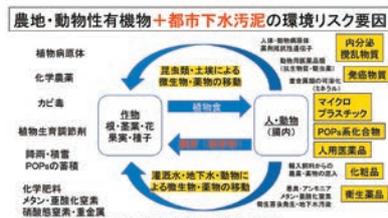
転載・再利用は固くお断りします

基調講演「脱炭素社会における堆肥利用を軸とした耕畜連携・資源循環型農業」5回シリーズ⑤
北海道農業研究センター 芽室研究拠点 池田 成志氏

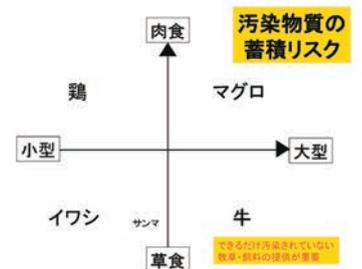
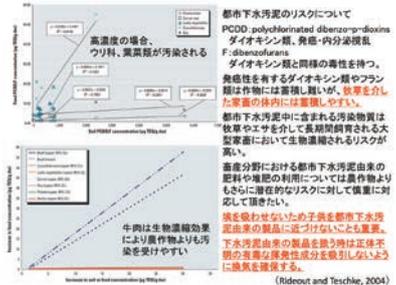


- 温暖化抑制のための堆肥の効用:主とめ(Antonangelo et al., 2021)
- 堆肥への炭の混和により通気性が改善され、メタン酸化細菌(メタンを消費する細菌)が増加し、メタンの発生量が減少する。
 - 環境中への温暖化ガスの発生量を減らすためには、発生量=生成量-消費量なので、生成量を減らすか消費量を増やす必要がある。
 - 堆肥への炭の混和により通気性が向上し、有機物分解が速いため二酸化炭素発生量は増加し、同時に、炭による効果で二酸化炭素の減少も起こる。
 - 堆肥への炭の混和により1)炭が硝化態窒素を吸着し、2)炭に吸着した金属イオン(鉄・マンガン等)が硝化態窒素から窒素への還元を促進し、3)通気性の向上が硝化態窒素の生成を促進し、同時に硝化態窒素から窒素への還元を抑制することで硝化態窒素の発生が減少する。2)は嫌気条件、3)は好気条件で起こる微生物活性であるため、温暖化ガスの発生を抑制しメタンよりも発酵性によるアンモニアの発生は温暖化ガスの発生を助長し、堆肥の堆肥効果を低下させるが、堆肥への炭の混和により堆肥からの窒素の損失を抑制する。
 - 炭はアンモニアとアンモニアの弱酸体(アンモニウム、尿素、尿酸)を吸着し、硝化細菌に適した環境を提供する。
 - 堆肥への炭の添加によりアンモニアの発生量が増加する事例も知られている。
 - 堆肥への炭の添加により、タンパク質や含有有機化合物の分解時に生成される有害な酸化窒素の発生量も減少する。

- モネンシンは馬には毒性が高いため使われることがないと考えられ、これが馬糞堆肥が良いと言われる理由の1つになっているのではないかな?
- 下水汚泥の牧草地への施用や下水汚泥を使った飼料作物の栽培は避ける。毒物の生物濃縮の恐れがあるため。



- 微生物・化学物質による土壌・農作物の汚染
- 窒素やリン、温暖化ガス、化学物質等による環境汚染 =>全て人間自身の健康・存在を脅かす要因となる。



尿汚水の乾燥化に木の灰を利用?

Water and Biomass Management (2023) 11:753–768
https://doi.org/10.1007/s12040-023-00108-9

ORIGINAL PAPER

The Use of Wood Biomass Ash in Sewage Sludge Treatment in Terms of Its Agricultural Utilization

Marta Wójcik¹, Folia Stachowicz¹, Adam Masłoń²

下水汚泥の乾燥化資材として、木の灰が効果的ではないかと研究発表がなされています。

御静聴を頂き有難うございました

資料についての問い合わせ先
電話：0155-62-9276
メール：sikedas7@affrc.go.jp

販売目的や有料での講演で転載・転記される方がいるので、配布資料については二次譲渡禁止ということでお手元での保管・利用としてもらえと大変有難く感謝致します。